

彩の国みどりの基金

埼玉県立近代美術館を囲む 緑の再生プロジェクト

すくすく育ったヒマラヤ杉は50年ぐらいで
実を付けるようになります。

ごあいさつ

北浦和公園は、旧制浦和高等学校、現埼玉大学が移転したことにより、その跡地に計画され昭和 49 年に開園しました。駅近くに立地する、市街地にある公園として多くの利用者に親しまれています。昭和 57 年には公園内に県立近代美術館が開館し、既に 36 年が経過しました。

現在、北浦和公園は当美術館が管理しており、公園内には子供たちが遊べる児童広場や人々の憩いの場となる芝生広場、音楽に合わせ噴水が躍動する音楽噴水があり、彫刻広場をはじめ国内外の作家による野外彫刻も数多く配置し身近にアートが感じられる場所としています。

平成 23 年以来、「見沼 100 年構想の会」を始め多くの皆様には、計 79 回にわたる「埼玉県立近代美術館を囲む緑の再生プロジェクト」のボランティア活動を通じて、公園の環境改善に大きく貢献していただきました。

美術館の顔となる正面玄関周辺の整備や彫刻広場の枝垂桜の再生など公園内の植栽環境の改善につき積極的に御提案いただくとともに、整備に御尽力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

日頃から草木の植生を研究し、美術館や公園の環境や管理状況にあった方法を試行されてきた努力もさることながら、近隣の方々や地元の企業の力を結集しての御活動によって地域の絆もより一層深めることに繋がっていることと思います。

北浦和公園では、これからも利用者の皆様が安全に楽しむことができ、親しみのある憩いの場所となるよう環境の整備に努めるとともに、美術館と一体となった魅力あふれるアート空間の創出に努めてまいりますので、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県立近代美術館長 建畠 哲

県立美術館と見沼100年構想の会の協働による県立近代美術館の魅力増進

私は、平成 24 年から 3 年間、埼玉県立近代美術館の施設管理職員として従事しておりました。この美術館は全国的に見ても大変珍しい県立公園の中に立地する美術館ですので、美術館職員として公園の管理にも携わっていました。

この公園は、美術館へのアプローチパークとしての価値のみならず、近隣の住民の憩いの場としての価値、旧制浦和高等学校跡地という歴史的価値となど多彩な価値を持ち合わせています。これらの価値を高め、安全で魅力のある公園であるために、どのように管理していけばいいのか、日々悩んでいました。

そのような中、公園ボランティアとして活動されている「見沼 100 年構想の会」のみなさんと出会いました。県立公園の限られた予算では公園整備にも限界があり、現状を維持するだけで手一杯です。「見沼 100 年構想の会」のみなさんの協力なしには、公園の魅力増進は非常に困難だと痛感しました。私も施設職員としてボランティア活動に何度か参加させていただき、枯れ枝や実生木の除去を行いました。この活動を通して、公園の魅力が高まることを感じるとともに、「見沼 100 年構想の会」のみなさんがどれだけこの公園を愛し、よりよい公園にしたいこうと想っていただけいるのかを知ることができ、公園管理従事者としての責任の重さも感じました。

そこで、みなさんの想いに少しでも応えたいと、平成 27 年度の美術館大規模改修工事に併せて、公園リニューアル工事の予算を確保し、公園の全面的なリニューアル工事を行うことができました。このリニューアル工事の目玉の一つに、公園のシンボルの一つである枝垂れ桜の再生があります。これまでの枯れていく枝垂れ桜の枝の剪定など応急的な対処しかできませんでしたが、この工事で「見沼 100 年構想の会」のみなさんから専門的なアドバイスをいただき、土壌改良など再生に向けて手厚い手当てができたのではないかと考えています。まだまだ道半ばではありますが、枝垂れ桜が、引き続き公園のシンボルとして力強く再生してくれることを願っています。

最後に、「見沼 100 年構想の会」のみなさんの今後の活動の発展を心より祈念しています。

元埼玉県立近代美術館職員 鈴木 亨

埼玉県立近代美術館を囲む緑の再生プロジェクト

正面玄関にある花壇は、かつて旧制浦和高等学校跡地を昭和 49 年に北浦和公園とした時に「並木を記念に残して」の要望に応じて石の枠組みをして残したなごりです。美術館北側にあったシラカシは日照などの環境で枯れてしまい石枠だけが残って現在に至ります。

このプロジェクトの発足当初、公園では高木密生による倒木が相次ぎ、幸いにも人的被害はありませんでしたが、近隣の方々から見通しを良くしてとの要望がありました。

そこで、樹木調査、毎月定例活動のほか専門家のボランティアの協力と「彩の国みどりの基金」を活用することにより、危険な高枝処理などの作業を行いました。

美術館が開館して以来、初めての大規模な公園改革が行われた時には、美術館と連携しながら、危険が予想される樺、白樫などの大規模な伐裁整理を行いました。

多くの人たちから愛されていた疎林広場中央にあるヒマラヤ杉は、樹齢 50 年を越え昨年から初めて実を付けだしたのが確認されました。

一滴の水もやれず、費用もかけてやれない条件の中、来館された方々に「また、訪れたい」と思っていたく工夫をどの様にしたら良いかと検討しました。

美術館の協力のもと、近隣に住むの方々、見沼 100 年構想の会の会員有志、常に企業参加してくださる（株）ケイワール日清さん、SAWA ガーデン桑名さん、(株)翠正園さん、村坂造園さん、「きなり」長嶋さん、中林さん、青塚さん、東さん、友利さん、レストランベペロネ、みのりやさん、宇野さん、明神さん、小川さん、松川さん、宇田川さん、稲垣さん、西畑さん、伊田さん、秋山さん、大場さん、田尻さん、加藤さん、山本さん、栗田さん、土濃塚さん…毎月第二日曜日（1 月・8 月は休み）に参加していただきました方々は、延べ 1,500 人を超えます。美術館の公園が私たちの豊かな暮らしの支えとなっています。

見沼100年構想の会 水野晶子



美術館所蔵のクロード・モネ「ジヴェルニーの積みわら、夕日」にちなんで、玄関前の花壇に蒔いた麦が実りました。



ボランティア募集と毎月の予定告知チラシ。



当会の発足時に描かれた
見沼スーパーパノラマ・イラスト（友利宇景・作）

都心からの電車で 30 分、北浦和駅西口から徒歩 3 分にもかかわらず、みどり溢れる中にある美術館です。

ここから東に、車で 15 分も行くと見沼たんぼの田園風景が広がります。美術館に来られた方々に、芸術と緑に親しむ環境づくりをこれからも少しずつ続けていきたいと思います。

雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
正面玄関の草花たち。



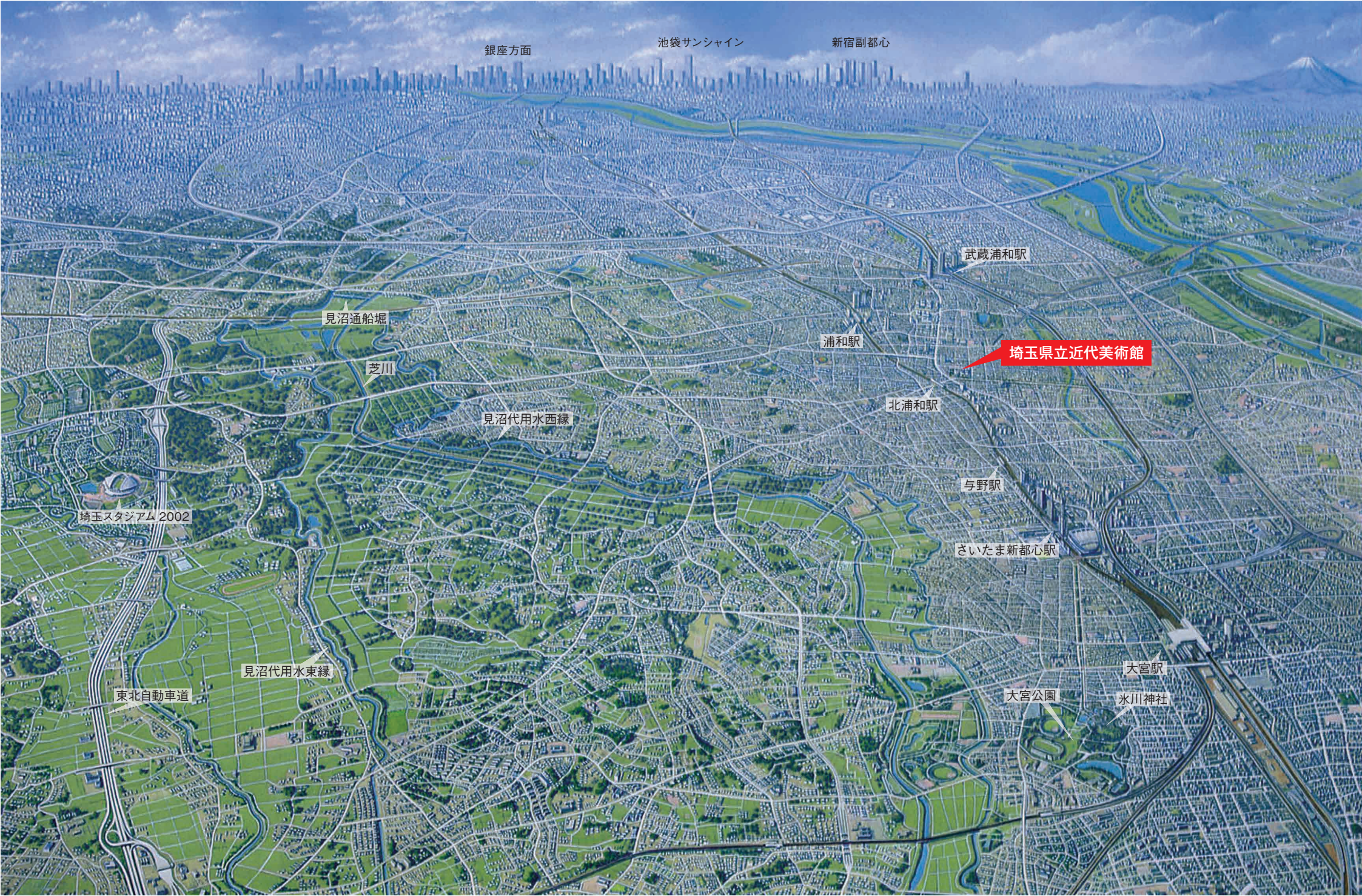
リクナスコロナリア 5～7月開花 和名：酔仙翁 花言葉：私の愛は不変



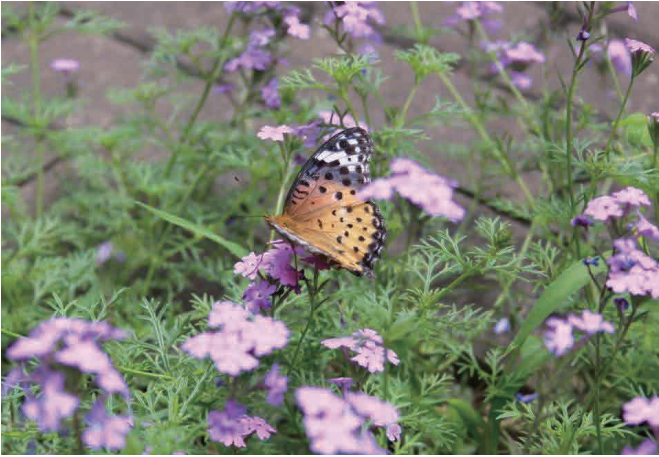
ツルニチニチソウ 3～6月開花 花言葉：生涯の友情



ニゲラとリクナスコロナリア ニゲラ 5～6月開花 和名：黒種草 花言葉：深い愛



友利宇景さん（1947～2013）の遺作が国立科学博物館に寄贈（2014.2.）



タビアンとゴマダラヒョウモン 4～11月開花 和名：姫美女桜 花言葉：家族の幸福



クロコスミア 6～8月開花 和名：姫檜扇水仙 花言葉：楽しい思い出、謙譲の美



クリスマスローズ リニューアル後初めて咲いた。2～5月開花 花言葉：追憶

美術館を囲む公園の景観と環境が、訪れる人々に潤いと活力を与えるプロジェクトを発足。



年間を通じて多くのボランティアの方々にご協力いただきました。



公園の植物を生かして、夏休みの宿題のお手伝いを企画しました。



いつまでも解けない雪を除去する。

ポスターを描いて皆に呼びかけようと小4の参加者K君が制作。

みどりの活動支援補助事業を受けて、美術館がある公園づくりを利用者側からの提案とお手伝いをさせていただいて参りました。

花壇を中心に、充実した作業を実施。道具なども吟味して購入できたので、作業がスムーズです。毎年の気象状況は同じではない事が、この活動に関わりよくわかりました。

新しく住み始めた住民の方々に、これからも美術館を囲む豊かな自然環境を知ること心と体の健康に役立つ、このプロジェクトへの参加者を募集します。



美術館と連携しながら再生に向けて活動しています。



公園でのアート体験ワークショップ「MOMASUの扉」に協力しています。



駅からの正面玄関入り口を清掃。



SAWA ガーデン桑名さんの講習。



NPO 法人とよあしはら事務局長 山本裕隆先生を迎えて美術館講堂で勉強会。



植え込みから飛び出ている実生を根元から除去。

実生除去前



実生除去後



西口玄関は駐車場からの入り口となり、重要な箇所にも拘わらず手入れが疎かになり、定期的な刈り込みが行われていませんでした。7年ほど前になりますが、日照が続き枯れてゆくのが見えられずに守衛さんたちがまるまる一日中ホースで水やりし、枯れずに持ち越しました。しかし守衛室からの眺望が遮られ、防犯の上からも低くならないか、とのことで強剪定を実施致しました。





彩の国みどりの基金

埼玉県立近代美術館を囲む緑の再生プロジェクト

発行：見沼 100 年構想の会（世話人：水野晶子）

さいたま市北区別所町 1127-5 TEL.080-5014-6377

発行日：2019 年 2 月

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~minuma100/>（見沼 100 年構想の会）

<http://www.pref.spec.ed.jp>（埼玉県立近代美術館）

「埼玉県立近代美術館を囲む緑の再生プロジェクト」はみどりの自然課 みどりの基金県民運動 みどりの活動支援補助事業の支援を受けて発行しています。